改訂日:2025年4月1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報 製品名 推奨用途 会社名 住所

電話番号

整理番号

2. 危険有害性の要約 GHS分類 健康有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語 危険有害性情報

注意書き

3. 組成、成分情報 化学物質・混合物の区別 化学名 別名 化学式又は構造式 化学物質を特定できる一般的な番号 成分及び含有量 官報公示整理番号(化審法、安衛法)

その他 4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

応急処置をする者の保護

医師に対する特別注意事項

5. 火災時の措置 適切な消火剤

> 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い

グリース・ロミイン亜硝酸試薬(GR亜硝酸試薬) 試験研究用

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁眼3番11号

(06)6231-3555(大阪·本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

急性毒性(経口):JIS区分外(UN区分5) 皮膚腐食性及び皮膚刺激性・区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分2

皮膚感作性:区分1



警告

飲み込むと有害のおそれ

皮膚刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

強い眼刺激 【安全対策】

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

【応急措置】

皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。

版に行った場合:メモッカーに当版にルラニュ。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着 用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に

業務委託すること。

混合物

1-ナフチルアミン	スルファニル酸	L(+)-酒石酸
アルファーナフチルアミン	パラ-アミノベンゼンスルホン酸	d−酒石酸
C ₁₀ H ₂ NH ₂	H₂NC ₆ H₄SO ₃ H	C₄H ₆ O ₆
134-32-7	121-57-3	87-69-4
1%	10%	89%
(4)-321/公表	(3)-1971 /公表	(2)-1456/公表

鼻をかみ、うがいをさせる。水でよく口の中を洗浄する。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

医師の手当を受ける。

製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。

痛み、違和感を感じる場合は、直ちに医師の手当を受ける。

直ちに医師の手当を受ける。 速やかに口をすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。

該当情報なし。

汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に振れないよう

薬傷がある場合は汚染物を除去したうえで、通常の火傷手当と同様に手

に手袋を着用するなど注意する。

当てを行う。

本品は可燃性である。乾燥砂、炭酸ガス、泡末消火剤、噴霧水等を使用

する。
火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。 火災時に、刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する 危険でなければ火災区域から容器を移動する。不可能な場合は周辺に

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避

させる。 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する

粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器等に回収する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

全体換気装置、局所排気装置を設置する。

グリース·ロミイン亜硝酸試薬(GR亜硝酸試薬),米山薬品工業㈱,05103,2025年4月1日, 技術的対策(局所排気・全体換気) 洗眼器と安全シャワーを設置する。 吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着 用する。 安全取扱い注意事項 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱い をしない。 接触回避 熱,火花,裸火,高温のもののような着火源、混触危険物質 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。 衛生対策 保管 技術的対策 容器を密閉し、換気のよい涼しい場所で施錠して保管すること。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源や混触危険物質から離して保管 適切な保管条件 する。 容器包装材料 ガラス 8. ばく露防止及び保護措置 管理濃度 未設定 許容濃度等 日本産業衛生学会 未設定 ACGIH 未設定 濃度基準値 8時間: 未設定 短時間:未設定 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置す 設備対策 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 保護具 呼吸器の保護具 防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。 手の保護具 ゴム手袋を着用する。 眼の保護具 保護眼鏡やゴーグルを着用する。 皮膚及び身体の保護具 保護衣、保護エプロン等を着用する。 9. 物理的及び化学的性質 物理状態 粉末 色 白色 該当情報なし。 臭い 融点/凝固点 該当情報なし。 沸点又は初留点及び沸点範囲 該当情報なし。 可燃性 可燃性あり。 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 該当情報なし。 引火点 該当情報なし。 該当情報なし。 自然発火点 分解温度 該当情報なし。 該当情報なし。 рΗ . 動粘性率 該当情報なし。 該当情報なし。 溶解度 該当情報なし。 n-オクタノール/水分配係数 該当情報なし。 蒸気圧 該当情報なし。 密度及び/又は相対密度 該当情報なし。 相対ガス密度 該当情報なし。 粒子特性 10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性 空気中で徐々に着色する。 危険有害反応可能性 強熱されると燃焼し、有害な窒素酸化物、硫黄酸化物、炭素酸化物を発 生する。 避けるべき条件 高温、多湿、光 酸化剤、塩基、還元剤 窒素酸化物、硫黄酸化物、炭素酸化物 混触危険物質 危険有害な分解生成物 11. 有害性情報 急性毒性 経口: [1-ナフチルアミン] ラットLD50値=680mg/kg(IUCLID(2000)、HSDB(Access on Oct 2005))、779mg/kg(IUCLID(2000))(区分4) 「スルファニル酸] ラット: LD50=12300mg/kg、13200mg/kg(Technical grade) (何れもIUCLID (2000))(区分外) [L(+)-酒石酸)] マウスLD₅₀= 4300mg/kg (JIS区分外、UN区分5) [製品] 加算式による混合物のATEより本製品はJIS区分外(UN区分5)とした。 経皮: [1-ナフチルアミン] ラットLD50値=447mg/kg(IUCLID(2000)、HSDB(Access on Oct 2005)) (区分3) [スルファニル酸][L(+)-酒石酸] データなし。 [製品] 加算式による混合物のATEより本製品は区分外とした。 吸入 [1-ナフチルアミン] (粉塵): ラットLC50(4時間)値が>0.056mg/Lのデータ(IUCLID(2000)、HSDB (Access on Oct 2005))があるが、このデータからはどの区分に該当するか判断できなかった。(分類できない) [スルファニル酸][L(+)-酒石酸] データなし。 「製品」 本製品は分類できない。 [1-ナフチルアミン] HSDB(Access on Oct 2005)、HSFS(2004)およびICSC(J)(2000)にヒト

皮膚腐食性 刺激性

への短期ばく露の影響として皮膚を軽度に刺激する可能性が示唆されているが、症例報告はない。一方、IUCLID(2000)およびHSDB(Access on Oct 2005)にウサギを用いた試験で刺激性が認められなかったとの記述 がある。(区分外)

[スルファニル酸]

ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、24時間ばく露の結果「slightly irritating」(IUCLID(2000))の記述があり、その他に20時間ばく露で「mild rubor」及び「slight rubor」の結果(IUCLID(2000))の記述がある。(JIS区 分外、UN区分3)

皮膚に対して刺激性があり、EU-Annex I でR36/37/38に分類されてい る。(区分2)

[製品]

区分2の成分(L(+)-酒石酸)を3%以上含むため本製品は区分2とした。

[1-ナフチルアミン]

IUCLID (2000) およびHSDB (Access on Oct 2005) のウサギを用いた試験で軽度な刺激性が認められたとの記述ある。(区分2B)

[スルファニル酸]

ウサギを用いた眼刺激性試験において、滴下後24時間の結果「moderately irritating」との記述があり(IUCLID(2000))、EU分類では Xi:R36(EU-Annex I(access on 11 2008))である。(区分2A)

[L(+)-酒石酸)}

眼を刺激し、EU-Annex I でR36/37/38に分類されている。(区分2)

[製品]

全ての成分が区分2(A,B)のため本製品は区分2とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

眼に対する重篤な損傷・刺激性

呼吸器:全成分についてデータなし。

[製品]

本製品は分類できない。

皮膚: [1-ナフチルアミン] IUCLID(2000)にモルモットを用いたMaximization testでseisitizingとの結 果が記載されているが、感作された動物の比率が示されていない。(分類 できない)

[スルファニル酸] モルモットを用いたMaximization testにおいて、「sensitizing」との結果が2 体(IUCLID(2000))、それに加えモルモットを用いた複数の皮膚感作性試験で陽性の結果が得られている(全てIUCLID(2000))。またEU分類では R43(EU-Annex I(access on 11 2008))である。(区分1)

[L(+)-酒石酸] データなし。 [製品]

区分1の成分(スルファニル酸)が1.0%以上のため本製品は区分1とした。

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

[1-ナフチルアミン]

体細胞を用いるin vivo変異原性試験であるマウスを用いた小核試験で陰性である。(IUCLID(2000))(区分外)

「スルファニル酸]

にいたアードは、 in vivo変異原性試験のデータがなく分類できない。なお、Ames試験(in vitro変異原性試験)は陰性を示している。(NTP DB (access on 11. 2008)、IUCLID (2000))(分類できない)

[L(+)-酒石酸] データなし。

[製品]

本製品は分類できない。

[1-ナフチルアミン]

IARC(Access on Oct 2005)で3に分類されている。(区分外)

IARUC(Access on Oct 2005) で3に対策されている。(はアプケ) (特別) 本物質の発がん性は明らかでないが、本物質の構造異性体であるペータナフチルアミンにはヒトに対して発がん性がある(IARCでグループ1に分類。2005)。従って、本物質の製品にはベータナフチルアミンが不純物として含まれるおそれがあることに注意する必要がある。

[スルファニル酸][L(+)-酒石酸]

データなし。

[制品]

本製品は分類できない。 全成分についてデータなし。

本製品は分類できない。

特定標的臓器・全身毒性-単同ばく露

[1-ナフチルアミン]

PATTY(4th, 1994)にイヌで200mg/kg強制経口投与によりメトヘモグロビ ンを生成するとの記述があり、ヒトでは、具体的な症例報告等の引用はないが、Priority2の出典(HSDB (Access on Oct 2005)、ICSC(J) (2000)、HSFS (2004)、SITTIG (4th, 2002))にメトヘモグロビン血症を起こすことがあるとの記述から、血液が標的臓器と考えられる。(区分2・血液)

[スルファニル酸][L(+)-酒石酸]

データなし。

[製品]

区分2の製品は10%未満の為、本製品は区分外とした。

特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露 全成分についてデータなし。

[製品]

本製品は分類できない。 全成分についてデータなし。

[製品]

本製品は分類できない。

12. 環境影響情報 牛熊毒性

誤えん有害性

短期(急性): [スルファニル酸]

魚類(ファッドヘッドミノー) 96時間LC50 = 100.4 mg/L (ECETOC TRI91: 2003)

(区分外)

[1-ナフチルアミン][L(+)-酒石酸] データなし。

[製品]

本製品は分類できない。

長期(慢性): [スルファニル酸] 慢性毒性データが得られていない。急速分解性はないが(難分解性、 BODによる平均分解度: 3%(化審法DB: 1998))、蓄積性がなく(LogKow: -2.16(PHYSPROP Database: 2018))、急性毒性区分外である。(区分外)

[1-ナフチルアミン][L(+)-酒石酸] データなし。

[製品]

本製品は分類できない。

成分中のスルファニル酸は難分解性である。

該当情報なし。 該当情報なし。

13. 廃棄上の注意

残留性·分解性

土壌中の移動性 オゾン層への有害性

生態蓄積性

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上 望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公 共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準 に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

品名(国連輸送名)

国連分類 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

海上輸送 航空輸送 応急措置指針番号

15. 適用法令 化学物質管理促進法(PRTR法) 労働安全衛生法

毒物及び劇物取締法 消防法

16. その他の情報 引用文献

_ 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように

積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当

法律に定められる運送方法に従うこと。 船舶安全法に定めるところに従うこと。 航空法の定めるところに従うこと。

指定化学物質に該当しない。

名称等を表示し又は通知すべき危険物及び有害物[アルファーナフチル アミン及びその塩1%以上を含有するもの、スルファニル酸 1%以上を含有するもの〕

危険性又は有害性を調査すべき物[アルファーナフチルアミン及びその

用義務物質〔アルファーナフチルアミン及びその塩、パラーアミノベンゼン

特定化学物質第1類物質(製造許可物質)[アルファーナフチルアミン及び その塩](単体及び1%を超えて含有する製剤が該当、本製品は非該当)

毒物及び劇物に該当しない。 危険物に該当しない。

弊社SDS(各成分) 職場の安全サイト(厚労省HP) NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) 17423の化学商品

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。